

【枕草子】

【1】池あるところの五月長雨のころ

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

池あるところの五月長雨のころいとあはれなれ。菖蒲・菰など生ひこりて、水もみどりなるに、庭もひとつ色に見えわたりて、くもりたる空をつくつくとながめくらしたるは、いみじうこそあはれなれ。いつも、すべて、(a)池あるところのはあはれにをかし。冬も、氷したるあしたなどは(b)いふべきにもあらず。わざと(c)つくろひたるよりも、うち捨てて水草がちに荒れ、青みたる絶え間絶え間より、月かげばかりは白白と映りて見えたるなどよ。

すべて、月かげは、いかなるところにても()。

(枕草子)

問一 文章中から抜き出した次のうち、歴史的仮名づかいを含んでいないものはどれか。次のア～エから選べ。

ア いみじうこそあはれなれ

イ ひとついろにみえわたりて

ウ こほりしたるあしたなどは

エ あをみたるたえまたえまより

問二 (a)「池ある」を口語文に直すとき、「池」の下に補う語はどれか。次のア～エから選べ。

アの イで ウに エばかり

問三 (b) 「いふべきにもあらず。」の意味として、最も適当なものはどれか。次のア～エから選べ。

ア いまさら言わないほうがよい。
イ あらためて言わねばならない。
ウ ことさらに言うにおよばない。
エ 軽々しく言ってはならない。

問四 (c) 「つくろひたる」の意味として、最も適当なものはどれか。次のア～エから選べ。

ア 作り替えた イ その場のがれに隠した
ウ 刈り取った エ 手入れをした

問五 () に「しみじみとした情趣がある」の意味にあたる古語を入れる場合、最も適当なものはどれか。次のア～エから選べ。

ア あはれなり イ あはれなる
ウ あはれなれ エ あはれなし

問六 原文で筆者が述べていない情景を、次のア～エから選べ。

ア 氷のはった朝のようす。
イ 月の光が池に映っているようす。
ウ 藻で池一面が緑になっているようす。
エ 梅雨のころの、池やそのあたりのようす

(京都)

問一 「解答」
問二 イ
問三 ア
問四 ウ
問五 エ
問六 ア
ウ